

平成 23 年度 第 4 回事業仕分け委員会 議事録要旨

日 時	平成 23 年 11 月 11 日（金）午後 1 時 30 分～2 時 23 分	
場 所	市役所 本庁舎 第 10 会議室	
出席者	委 員	荒井英明委員長、石原勝成委員、河合和代委員、近藤哲生委員、杉浦光子委員、高橋ひとみ委員、中前敏之委員、深津茂樹委員
	事務局	市長、新井副市長、企画部長、行革・政策監、経営管理課長、経営管理係長、経営管理係担当
次 第	1 市民憲章唱和 2 あいさつ 3 議題 平成 23 年度事業仕分け結果に対する市の方針（案）への意見書について 4 意見書提出 5 その他	

1 市民憲章唱和

2 荒井委員長あいさつ

こんにちは。お忙しいところお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

本日は第 4 回の委員会ということで、最後の委員会となります。事業仕分けの開催前の事業選定から、様々なご意見をいただきました。本日は、事業仕分けの結果を踏まえて、意見書の市長さんへの提出にもご協力いただきます。これから意見書（案）の内容についてご意見をいただきますが、副委員長をはじめ委員の皆様のご意見が反映された素晴らしい意見書だと思っています。

また、委員会については、外部の意見を聞き入れるという初めての経験の中で、新井副市長さんをはじめ事務局の皆様は、大変なご苦勞があったのではと思っております。庁内からも様々な意見があったと思いますが、まとめられた事務局の方にもこの場をお借りして感謝を申し上げます。

以上で、甚だ簡単ではありますが、開会のあいさつとさせていただきます。

3 議題

平成 23 年度事業仕分け結果に対する市の方針（案）への意見書について
（企画部長）

ありがとうございました。以後の進行につきましては、委員長より議事の取り回しをお願いいたします。

（荒井委員長）

これより議題に入らせていただきます。本日の議題は「平成 23 年度事業仕分け結果に対する市の方針（案）への意見書について」であります。事務局から説明をお願いします。

（事務局）

第 3 回の事業仕分け委員会におきまして、委員の皆様には「事業仕分け結果に対する市の方針（案）」についてご意見をいただき、荒井委員長に意見書（案）としてまとめていただいたものが、こちらの意見書（案）でございます。

1 枚めくっていただくと市長あてに委員会としての前書きが記載されています。2 ページから 8 ページまで「個別事業ごとの市の方針案に対する意見」を記載し、最後の 9 ページに「事業仕分け全般に対する意見」ということで 5 項目が記載されています。

なお、「市民保養事業」につきましては、第 3 回委員会で、方針案の内容についてご指摘をいただきましたので、商工課で修正案を作り、意見書（案）とともに皆様に事前送付させていただきました。

委員からは、市民保養事業について、「平成 25 年度に実施するアンケートの対象者が決められていないことが問題である。」とご意見をいただきました。

その他の委員の皆様からは、特にご意見はございませんでした。

委員の意見を踏まえ、意見書（案）の 4 ページをご覧ください。当初の方針案に対しての 2 つの意見は削除させていただき、新たに「制度の存続・廃止を含め、幅広い市民へのアンケートを実施するなど、見直し作業を継続していただきたい。」という意見を記載させていただきました。

事前にお送りした資料からの変更点について、ご説明させていただきました。以上でございます。

(荒井委員長)

若干「市民保養事業」について補足させていただきます。考え方としましては、「ゼロベースで見直すべきだ」という市民判定人の判定に対しまして、担当課からは改善して事業を進めるということですが、改善を進める中で事業の存続・廃止を含めて、継続的な見直し作業を進めて欲しいという整理をしたものですので、ご理解いただきたいと思います。

ご意見はございますでしょうか。

(意見なし)

それから最後の 9 ページですが、個別事業だけでなく事業仕分けに対する全般的な意見も盛り込ませていただきましたが、このことも含めていかがでしょうか。

(委員)

非常に良くまとまっていると思います。

(荒井委員長)

ありがとうございます。先ほどの市民保養事業の考え方にも似ているのですが、事業仕分けという作業そのものについても、一過性の作業に終わることなく継続的に取り組んで欲しいという意見として、整理させていただいております。

それでは、意見書（案）については、これを持ちまして事業仕分け委員会の意見書としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(荒井委員長)

ありがとうございました。それでは、これを委員会の意見書として提出したいと思います。

(企画部長)

ありがとうございました。それでは、只今から意見書を安城市長へ提出いただきますが、市長が参るまで、しばらくお待ちください。

(市長入室)

(企画部長)

平成 23 年度事業仕分け結果に対する市の方針案への意見書ができましたので、荒井委員長より提出をお願いします。

(荒井委員長)

平成 23 年度事業仕分け事業仕分け結果に対する市の方針案を審議し、委員会の意見として提出いたします。

市長様におかれましては、ぜひこの意見書を参考に持続可能な行政経営ができるよう、ご尽力いただきますようお願いいたします。

(企画部長)

それでは、市長より一言お願いします。

(神谷市長)

皆様こんにちは。本日は、第 4 回目の事業仕分け委員会にお集まりいただき、ありがとうございます。特に荒井委員長におかれましては、遠路安城市までお越しいただき本当にありがとうございました。

只今、「平成 23 年度事業仕分け結果に対する市の方針（案）への意見」を委員長からいただきました。

各分野においてご活躍されている委員の皆様におかれましては、大変ご多忙の中、事業仕分けの対象事業の選定から、その後のフォローまでご協力いただき、また、意見書を作成いただきまして、誠にありがとうございました。

事業仕分けにつきましては、昨今における厳しい経済状況の中、各事務事業のあり方や改善点などを市民目線で見つめ直すため、安城版事業仕分けを 8 月に実施いたしました。

市民目線で見つめ直す取組としましては、本委員会の事業選定過程や事業仕分けの議論を全面公開したこと以外にも、インターネットによるライブ配信、市民判定人方式、対象事業の市民投票など様々な取組があげられます。

市政を徹底して透明化しつつ、そのプロセスの中心に市民を位置付けて実施したこれらの取組は、非常に意味があったと思っております。

私も 2 日間、市職員と仕分け人との熱気あふれる議論を、ややもどかしさを覚えながらも聞かせていただきました。多くの市民傍聴者、市民判定人の前での議論によって、本市の課題を市民と職員が共有することができ、それぞれに意識の変化があったように思われ、有意義であったと感じております。

その課題への市の取組方針（案）に対して、委員会からは、具体的な検討内容や方向性を示すべき、あるいは、改善への取組は、コストや効果を明確にすべきなどのご意見いただきました。謙虚に受け止めて、厳しい時代に合致した行政運営を改めて進めてまいりたいと思っております。

委員の皆様には、今後とも市政に対して、それぞれのお立場、視点からご意見、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

(企画部長)

委員の皆様には、本市の事業仕分けのご意見、ご感想をお一人ずつお願いできますでしょうか。まずは荒井委員長お願いします。

(荒井委員長)

委員の皆様、本当にお世話になりました。本委員会におきましては、事業選定から、事業仕分け当日、方針への意見等々、事業仕分けを全て公開するという委員会方式を導入していただきました。この委員会方式や市民判定人方式、市民投票等々、これは、全国各地で事業仕分けが行われておりますが、非常に先駆的な、最も市民に近い新しい方式だと思っております。この方式を取り入れました市長をはじめ安城市の皆様には、心より敬意を表させていただきます。

また、意見書にも書かせていただきましたが、事業仕分けというのは一過性に終わる作業ではなくて、事業選定からその後のフォローまで全て一連の流れとして捉え、全国的にも非常に高い行政サービス水準を保たれている安城市のサービスが持続可能な状態となるように、お努めいただきたいと思います。

そして、市民の皆様へのアフターフォローも必要ですし、公開の場で外部の人間との議論を対応された職員の皆様へのフォローも非常に大切なことだと考えております。ぜひ、このフォローも含めて、今後のきっかけにしていいただければと思います。

本日、最後の委員会ではありますが、安城市の素晴らしい行政運営が続くことと、安城市民の皆様が幸せな生活が送れることを、心よりご祈念いたしまして、意見とさせていただきます。

(企画部長)

続きまして、委員お願いします。

(委員)

事業仕分けの前に行政評価委員を数年やらせていただきまして、そのときも結果を外部評価報告書という形で、市民にホームページで公開していました。しかし、そのときに市民から活発な反応はなく、ホームページに出したという程度のことでした。しかし、それはそれなりに意義があったと思います。

今回は、事業選定から判定人も含めて、市民に公開して意見をいただいたことは、

以前と比べて格段と市民の参画意識が高まったと思っています。継続することによって、行政への関心がより高くなってくことで、より良い行政経営が出来るのではないかと思います。職員の皆さんも行政評価委員会の時と比べて、はるかに緊張した中で、特にコスト意識もそうですが、説明責任の面においてもかなり厳しい質問に答えなければならないことから、全ての職員の方においても意識を高められたのではないのでしょうか。

今後の取組については、スピード感がないように感じました。行政はサービス業であると思いますし経営体であると思いますので、いかにお客様の満足度をあげるかということだと思います。限られた予算の中で満足度を上げていくというのは、選択と集中という意識を行政にも市民にも高めていくことが必要で、このような取組を行っていくことでお互いに成長していくものだと思います。

最後に、事業を取り上げるのに市民投票を行いました、投票数はわかるのですが、なぜこの事業を取り上げたのか。止めてしまえということなのか、もっとしっかりやれということなのか、その内容がわからなかったのも、その辺りに配慮があると良かったと思います。

(企画部長)

ありがとうございました。それでは、次に委員、お願いします。

(委員)

大変勉強になり、ありがとうございました。市民に近い事業仕分けができたということで、私もこのような形で関わることで良かったと思いますが、細かいたくさんの事業が一つになっているような事業は判りにくく、大変仕分けにくかったと思います。この事業は、何を目標に、どこまで達成しているのか判りにくく、判定しづらい事業があったので、より判りやすい表現の仕方を考えていただけると嬉しいと思いました。

それから、(自分の判定・意見によって、)今まで携わってきた人の生き甲斐を否定してしまうようなことにならないかという部分が怖いと思いました。今まで続けてきたことを変えていくことは、いろいろな圧力があると思いますが、市民の意見という名の下に踏ん張って、改革していただきたいと思います。

町内会のことや幼稚園のことなど、お金にかかわることに対して、お世話になった人の負担になってしまうような意見を言っているかもしれないという思いがあって、市民代表として選ばれた仕分け人は、顔を出さないほうがよいのかもしれない。責任逃れではないですが、自由に意見を言いたいとは思いますが、そのような怖さ

があって、個人の保護についても必要になってくるのかもしれませんが。

私は、小学校講師をしていたこともあって、小学校では地域学習があり、学習する物が身近にあれば飛び込んでいって、見学して勉強しようと思っていて、心にかけているところなんです。今回は市政という中身が見えにくい部分に、飛び込んでみて勉強になりました。学校では先生に頼らず、一人立ちできるような子どもを育てようとしています。市も補助金とかに頼る市民を育てるのではなく、補助に頼らず自立できる市民を育成していくための補助金であって欲しいと思います。大変勉強になりまして、ありがとうございました。

(企画部長)

ありがとうございました。続きまして、委員をお願いします。

(委員)

まずもって、委員に選定いただきまして、微力ながら意見を述べさせていただきました。今回の事業仕分けに関しまして、財政基盤の強固な自治体でありながら自らの痛みを伴うこの行政手法を取られたという勇氣は、ある面感動しております。

特に徹底的な情報公開ということで、この委員会も含めて全て情報公開され、委員も言われておりましたが、第2回の委員会では一般の方がちらほら見えまして、プレッシャーがありました。前回の第3回の委員会では、逆に職員の方がたくさん見えまして、その方々に対して厳しいことを表現しなければならないということで、仕事のつながりも若干ありますので、色々思うところもございました。

しかしながら、根本的には安城市を良くしたいという、委員も職員も思いは同じだということで、私自身も勇氣をもって発言させていただいたということです。

第3者の意見というのは、非常に痛く、なかなか受け入れにくい部分があり、この2日間の仕分けを多くの市民の方が議論を聞いておられました。市民の方も職員の方も実感できたのではないかと思います。

組織というのは情報公開と透明性がないと澱んできますので、今回は素晴らしい機会を作られたと思います。

今回意見書を出させていただいて、実行して効果が出るかの1点に絞られてきます。安城市は、「財政基盤の強固な」という表現を先ほど言わせていただきましたが、これは過去の蓄積の部分であり、現状は商工業関係も非常に厳しい状況があり、将来は明るいきり度でなく、いかに地域としてのコストパフォーマンスを高めることが目的だと思います。

また、一過性にならないよう効果を現していただきたいと思います。

(企画部長)

ありがとうございました。続きまして、委員お願いします。

(委員)

行政評価委員に途中で参加させていただいて、引き続き仕分け委員として参加させていただき、大変参考になりました。ありがとうございました。

私は、国語の教員だったこともありまして、過去20年間文科省は「言語力」の育成を重視しています。その中で自分とは違う意見を「認める」、「受け入れる」、さらに自分の意見を「主張」するための「言語力」を身につけるということで、この先10年も重点目標になっています。事業仕分けで「言語」を使って意見を交わしたことは、意義があったと思います。他市の過疎地域の方がラジオか何かでお聞きになったみたいで、市民保養所の事業に対して「うらやましいね。安城市は金持ちだね。」という会話を偶然聞きました。豊かな財政だからできる市民サービス、他市がどう見ているのかという視点もあるのではないのでしょうか。

この先、財政がどうなっていくのかという中で、事業仕分けを継続して取り組んでいくという必要性は感じています。

意見書の1ページに「自分達の納めた税金の使い道にどういう課題があるのか。」ということで、市民の意見の中にみんなの税金が一部の人に使われているのではないかというものがありましたが、福祉の視点では、お互いに助け合う、互助の精神を広く理解し合わないといけない部分もあり、そういう部分は宣伝することも必要だと思います。

また、安城市の特色を活かした事業への税金の使い方には意味があると思います。職員の方も根拠をもって主張することも必要だと思います。今回初めての事業仕分けですので、2回目、3回目になっていけば、反論できてきて豊かな話し合いになっていくのではないかと思います。

先ほど、副委員長さんが言われました市民投票ですが、私もこの事業が取り上げられたのが、継続したいのか、止めて欲しいのかよく全く判らず、どのような意見を言っているのか方向性が見えないので、アンケートの内容に選択できる部分を入れたりするなど、もう少し工夫があるといいと思いました。

あと、テープ起こしを私自身もしたことがあって、書き言葉と話し言葉は全く違うので、大変苦労しました。今回の仕分けの膨大な量のテープ起こしについては、陰ながら、事務局はよくやられたと思いました。

この事業が継続されて、真摯で誠実な事業仕分けになっていくことを期待してお

ります。

(企画部長)

ありがとうございました。続きまして、委員お願いします。

(委員)

大変貴重な体験ができました。納税当事者である市民の意見がダイレクトに聞ける場というのは、とても画期的なことだと感じました。市民として全ての事業を知らなくても、生活はできるんだということを実感しました。

また、事業仕分け全般に関しては、外部からの冷静な視点で物事を見るということとは、大切なことだと実感しました。仕分け委員会の中で、委員長さんが「決まっているからやるのではなく、本当に必要なのかを考える」という根本の見直しがとても大切なことだと感じました。最後に、事業仕分けそのものを行わなくてもいいようになるのが理想だと思います。

(企画部長)

ありがとうございました。続きまして、委員お願いします。

(委員)

3年間、外部評価をやらせていただきまして、全事務事業の内容を調査させていただきました。市の職員は、職員定数を増やさずに一生懸命頑張っていると思っています。

それから、対象となった28事業は市民投票で投票数の多いものから仕分け委員会で選んだわけですが、事業の内容を判らずに投票している人もいると思われます。3年間の外部評価で事業を見てきた中で、不必要な事業もあると思っています。ですから、そのような不必要な事業からカットしたほうが財政的にはうまくいくと思っています。

市長がうまくリードされて、安城市はいい方向に進んでいると思いますので、今後ともよろしく願いしたいと思います。

(委員)

私は、昨年行政評価委員をさせていただきまして、引き続き仕分け委員会に参加させていただいております。

私の気持ちの中では、行政評価委員会では、行政の中で特に大事だと思われる事業をより応援するような気持ちで評価しておりました。事業仕分けというのは、不要なものをカットしていくというイメージがあったものですから、行政評価と事業仕分けは、相反するものという印象を持っておりました。

しかし、参加させていただいて事業仕分けにおいても、良い方向に改善したいという意見が多く出ていたことから、根底に流れる考え方は同じものなんだと思いました。私自身は、市民という立場ではなく仕事柄の専門性（弁護士）で選んでいたと思いますが、事業の選定においても、客観的な視点で発言していたつもりでございます。当事者である市民のご意見も大事だと思いますが、しがらみもありますので、市民以外の者を入れていただけたことは意味があったと思います。

意見書の全般的な意見の中で、継続的に取り組んでいただきたいという一言がございますが、やはり今回対象に上がった事業だけが改善が必要な訳ではないと思いますので、今回の意見を参考に他の事業についても検討いただければと思います。

（企画部長）

ありがとうございました。対象事業を決めるにあたっての理由付けですとか、市民投票方式は全国でも珍しいというご意見もいただきました。仕分けを継続していただきたいというご意見もありますし、市民意識が高まり良くなるようにというご意見もいただきました。今後事務局のほうで反省も踏まえ、良い仕分けにしていきたいと思っております。

それでは、市長につきましては所用がございますので、退席させていただきます。

それでは、「5 その他」でございますが、事務局からご連絡させていただきます。

（事務局）

今後のスケジュールでございますが、ご提出いただいた意見書を踏まえまして、関係課が方針（案）の見直しを行います。現在、予算編成作業が進んでいるのですが、2月上旬の平成24年度当初予算公表時期に合わせて、市の方針も公表する予定でございます。

さて、委員の皆様の任期につきましては1年となっており、今年度末をもって任期満了となります。本日が最後の委員会でございます。これまで、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

（企画部長）

連絡事項も以上でございます。何かご質問はございましたらお願いします。

（質問なし）

それでは、以上を持ちまして今年度の事業仕分け委員会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。